

「暮らす」「招く」「育てる」の真ん中で、新たな交流や体験を生み出す「道の駅」

新「道の駅」かんおんじ(仮称)ニュース

第2号
令和6年9月発行



写真:前橋市より提供(群馬県前橋市)

写真は、令和5年3月に開業したゲートウェイ型※1の「道の駅 まえばし赤城」、年間80万人の来場者数を目標に設定していたが、年間440万人が来場した。
※1ゲートウェイ型:幹線道路沿いに立地し、主として観光客に地元の食や特産品を販売し、観光による経済効果を期待(さらに「道の駅 まえばし赤城」は、鮮魚センターや子ども広場なども整備し、地元利用者も多い)

「市民、観光客から見た観音寺市」



今回は、市民アイデア会議やアンケートで分かった！
「市民、観光客から見た観音寺市」をお伝えします。

(市HP意見収集 特設ページ)

「観光客」からみた 観音寺市イメージは？

○写真を撮って、うどんを食べて、帰るだけ・・・
(観光消費額が少ない)



・絶景だね!
・次はうどん
食べたい!



・うどん食べたしもう帰ろう。
・おみやげは？
・名産品を売ってる場所が分からないから次の場所で!

○観音寺市？どこにあるの？
(そもそも知らない)

・どこ？ 何県？
・聞いたことあるけど興味ない!
・イメージがわからない。



資源はたくさんあるけど、魅力を伝えられていないな～



※裏面は、「市民」からみた 観音寺市のイメージは？ を紹介!

【発行者】観音寺市政策部プロジェクト推進課

電話 0875-23-7577 E-MAIL project@city.kanonji.lg.jp

詳細はこちら(市HP新「道の駅」特設ページ)



「市民」からみた 観音寺市イメージは？

○ゆっくり過ごせるような場所がない

○自慢の地域産品がある



こんな場所で
時間を過ごせ
たらいいな



美味しいものが
たくさんある

○雨の日でも気にせず子どもが
遊ぶところがない



雨の日だって
気にしない

○祭り・伝統文化が多数ある



祭りのおかげか観音寺市
を誇る人が多い

○PRが下手(情報発信不足)



資源はいっぱい
あるけど
情報発信がヘタ



何とかこの現状を改善
できないだろうか...

道の駅なら課題解決のための
ツールの1つになるのでは!?

「道の駅」は、地域の賑わいを生み
出している日本独自の施設です
道の駅は、第3ステージに突入
「道の駅」を世界ブランドに!



課題解決の1つのツールとして

四国のまんなかにある
地理的優位性を活かす

観光消費額を増やす

創意工夫により地方
創生拠点として道の駅
は期待大!

産品や観光地など
多くの資源をつなぐ

地域経済の活性化

有事の際は防災拠点に!